



ちようちん祭の「案内」

本年のちようちん祭は新型コロナウイルス感染症が未だ収束の見通しの立たない現状の中、氏子の皆様の安全と健康を考慮し、規模を縮小してまた、左記の通り校区ごとに参拝日をご指定させて頂き、分散での参拝をお願いし齋行させて頂きます。何卒、ご理解たまわります様よろしくお願い申し上げます。

記

梅林校区	七月二十三日(金)	【旧暦水無月十四日】	午後六時～午後八時	身褌大祓
白山校区	七月二十四日(土)	【旧暦水無月十五日】	午後五時 例大祭齋行	※神職、役員のみ参列
			午後六時～午後八時	身褌大祓
華陽校区	七月二十五日(日)	【旧暦水無月十六日】	午後六時～午後八時	身褌大祓

各校区指定の日時になるべくお参り下さいますようお願い申し上げます。
例年各町内で献灯頂くちようちんですが、社会状況に鑑みまして町内での献灯はご無理なされず、各戸より献灯頂ければ幸いに存じます。

以上

◆ちようちん祭

古来よりこの時季は疫病の流行やすい時季とされ、災厄除けの神様とご神徳高いご祭神へ感謝と願いをお伝えするお祭りとされてきました。明かりには特別な力が宿るとされ、明かりによりご祭神のお力が更に引き立つとの思いから、ちようちんを持ち寄るお祭りとなりました。赤いちようちんはご祭神が神話の中で退治したヤマタノオロチの目を表しています。ヤマタノオロチは災厄の根源とされておりちようちん(ヤマタノオロチの目)を目印に、ご祭神が自身や家庭の災厄を退治してくれるとの考えから各家庭、町内より持ち寄っています。

◆人形のあつかいについて【身褌大祓】

氏名を記載し、癒やしたい箇所や良くなりたい箇所に記しをし、人形にて撫でます。その後息を吹きかけます。ご指定の日時に人形を納める場所を祓戸に構えますのでお納め下さい。本年は例年通り、人形の紙にてお志しをくるむ「おひねり」を準備し祓戸にてお祓いを受け、本殿にてお参り下さい。

◆蘇民将来子孫の護符

ご祭神縁の災厄除の護符。「備後国風土記」蘇民将来の説話にはご祭神より賜った術により蘇民将来は災厄、疫病から逃れ、以来蘇民将来の子孫を記する者は災厄、疫病から逃れることができるかと広く浸透されてきました。

◆ちようちん祭特別祈禱

七月二十三日から三十一日まで受付致します。お電話にてお問い合わせ下さい。祭典後五色の願いに染められた蘇民将来子孫護符を授与致します。

◆お月夜参り特別授与

満守、御朱印などの授与は二十四日例大祭齋行後、午後六時頃より行います。
※毎月午後七時半からの満月祭は五時の祭典時に齋行致します。(神職、役員のみ参列)